

将来の家族の健康のために
もみの木の香りに包まれた
理想の家。

次世代の住まい
CASE 28
宮城県仙台市
Sさんの家
取材日/2012年6月



広々とスペースを取った玄関ホール。アーチやステンドグラスが訪れた人をおしゃれに温かく迎えます。



色味を抑えたシンプルなインテリアが「あまり物を置かず、すっきりと暮らしたい」というおしゃれな2人にぴったり。ディズニーのキャラクターがさりげなくデザインされた自慢のカーテンは、部屋ごとに違うデザインをチョイスしています。

「外観に引かれて入ったら、もみの木のいい香りが出て……。直感でここにしようと思った」とSさんご夫妻。結婚して間もないお2人がモデルハウスを訪れたのは2011年7月のこと。天然の木材に憧れてはいたものの、まだ家を建てるかどうか、決心はついていなかったそうです。ご主人は「再訪したら担当スタッフの方が、もみの木について熱心に説明してくれたので本当の良さが分かりました。費用のことにも親身に慮ってくれたのが決心につながった」と振り返ります。

打ち合わせは「すごく楽しかったよね」と、2人とも顔を見合わせてニコニコ。建築中の我が家を「ワクワクしながら毎週のように見に行っていたそう。自分たちの思いが形になるのがとても楽しかったそうです。

今年3月末に入居。完成した我が家は「裸足の感触が暖かく気持ちいい」と奥さま。「床や壁の手入れをしながら色や手触りが変わっていくのが楽しみ」とご主人。床が滑らないので愛犬のシユシユちゃんにも好評（？）のよう。

お2人は「何より、安心して子育てできそうです」と喜んで下さいました。

「木の家」がお好きということで、樅の木を気に入っていただき、ライオンや家に対する考え方もあっさりとお考えが最初からあったと思います。

打ち合わせは奥様にすっきり優しいご主人だったので、奥様の理想の外観、白い壁に赤い瓦屋根。そして内装もカーテンにアークセントがありあまり甘くならず、素敵なインテリアになりました。お2人のイメージどおりのマイホームになったと思います。

樅の木もお2人のように初々しいですが、これから、年月を重ねいい色になり風合いもでてたまたまは傷もつけてしまいましたが、これもまた思い出になります。

担当より一言

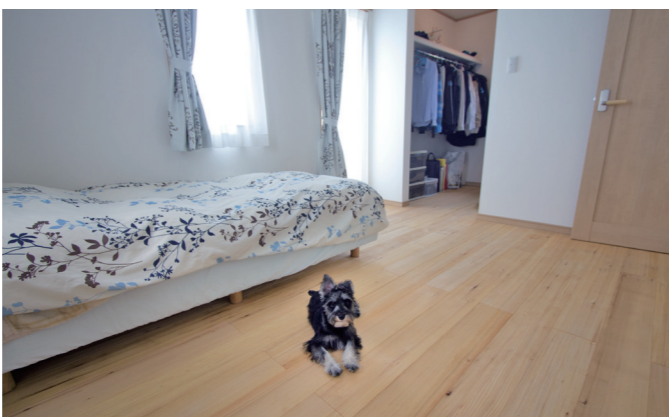


営業 後藤

「電磁波が少なく、余熱調理ができるので節約にもなる」と気に入った「DGH調理器」。これから子育てを考えると、健康や節約は大きなポイント。炭やかまどと同じ効果の遠赤外線調理するせいから料理がよりおいしくなったそうです。



キッチンからリビングダイニングの眺め。シンクの上に収納棚を付けず開放感を演出。手前のカウンターでお酒を飲むため、ちょうどいいカウンターチェアを探しているところ。



2Fの寝室。ドアを開けると見晴らしの良いバルコニーへ。ここから取り込んだ洗濯物はすぐウォーキングクローゼットに収納。



「たまには畳にゴロンとしたい」とご主人。和室というより、リビングから違和感なく続く畳のある空間としてデザイン。連続するアーチがやわらかな印象。



カナダ産のもみの木はミネラルストリークと呼ばれる黒い筋や斑点があります。カントリー調インテリアのポイントに。



共働きなので、ご主人が夕食の準備をすることもあるとか。2人で立てるよう広々とスペースを取り、シンクも高めに。吊り戸棚は思い切って無くなりました。



CASE28:宮城県仙台市 Sさんのお宅
家族構成:夫・妻
延べ床面積:約33坪 部屋:4LDK
こだわり設備:オールもみの木の床 スピンオフ壁



オープンな可動式棚はバスケットを上手に使って収納。Sさま邸には随所にたっぷり収納スペースを取っています。



吹き抜けはご主人のこだわりポイント。リビングに自然光が降り注ぎます



屋根瓦を3色の瓦を混ぜるに。ヨーロッパの趣きある印象的な外観。

